**バーコードでピッ！**

バーコードの番号をファイル名とした「画像」「音声」「文字」を作成し、バーコードリーダーで読み取ると音声、画像、文字を表示します。表示した画像の名前と読みを学習することができます。カスタマイズも各ファイルを用意し、ファイル名をバーコードの番号に変えるだけで色々なパターンを作ることができます。

・文字と音声を使用して、絵カードで物の認識学習。

・本のページ毎に録音をして、本の読み聞かせ。バーコードを読んでページめくり。

**○フォルダー構成**

　.zipファイルを解凍するとバーコードフォルダーに展開されますので、適切な場所に移動して使用します。



・settingsフォルダーに画像、文字、音声データを保存します。

・AxInterop.WMPLib.dllとInterop.WMPLib.dllは音声の再生で利用します。

・バーコードでピッ！.exe　はバーコードを読み込むソフトです。

**○使用環境**

* Microsoft Windows　Vista, 7, 8 (32ビット/64ビット)
* Windows Media Playerをインストールしておく必要があります。
* 音声の拡張子はmp3に対応。
* 画像の拡張子はjpg、gifに対応
* 文字の拡張子はtxtに対応
* AxInterop.WMPLib.dllとInterop.WMPLib.dllは使用していますので削除しないでください。

**○バーコードデータの作成**

settingsフォルダーにバーコードの番号と同じ名前の.画像（jpg/gif）、音声(.mp3)、文字（.txt）ファイルを用意します（.jpegでは動作しないので拡張子を変更してください）

バーコードは、作成して印刷するか、商品等にあるバーコードを切り取って利用することができます。



カエル画像.jpgファイルの名前を変更します。

割り当てるバーコードをリーダーで読み込むとバーコードの数値が置き換えられますので、ファイル名として変更します。同じようにmp3とtxtファイルを行います。

****

**○使い方**

①「バーコードでピッ！.exe」をダブルクリックすると下記の画面となります。





バーコードを読み込んだ時の動作として、「文字」「画像」「音声」のチェックして「はじめる」を押します。必ずひとつチェックをいれてください。

用途によって、画像と音声だけにしたりできます。







②下記の画面で、バーコードをリーダーで読み込みます。



「終了」ボタンを押して終わります。





